

- このたびは、漏電遮断器をお買い上げいただきありがとうございます。
- ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- この取扱説明書は必ず保管してください。

型式:GBC-1NA, GBC-2NA

パールテクト専用

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱説明書とその他の付属書類をすべて熟読し、正しくご使用ください。

機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて熟知してからご使用ください。

この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。



危険

：取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を招く可能性が想定される場合。



注意

：取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、傷害を招く可能性が想定される場合及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお



に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

■施工上のご注意



注意

- 高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動衝撃など異常な環境に設置しないでください。感電、火災、不動作のおそれがあります。

- 電気工事は、有資格者（電気工事士）が行ってください。
- 配線作業は上位遮断器を切「○」にし、電気がきていないことを確認してから行ってください。感電のおそれがあります。
- 端子のL相とN相を正しく接続してください。（AC100V回路専用器種の場合）
- 取付後は必ずテストボタンを押して動作を確認してください。
- ゴミ、コンクリート粉、鉄粉等の異物および雨水等が遮断器内部に入らないように施工してください。感電、火災、不動作のおそれがあります。
- ブレーカの動作で2次的な影響を受ける負荷には警報回路を併用してください。（内線規程）
- 連続負荷を有する分岐回路の場合、ブレーカに通電する負荷電流は定格電流の80%以下としてください。（内線規程）
- 絶縁抵抗を測定するとき、各極と対地間の測定はできません。線間の測定をされる場合は、負荷電線をとりはずし、その電線の箇所まで測定してください。

■使用上のご注意



危険

- 漏電遮断器は行きの電流と帰りの電流との差が規定以上になった時に動作する仕組みとなっており、2本の線（両線間）を握った場合は漏電検出しません。よって2箇所の裸充電部には絶対に触らないでください。感電時に動作しません。
- 端子部に触れないでください。感電のおそれがあります。



注意

- 電気工事は、有資格者（電気工事士）に依頼してください。
- 自動的に遮断した場合は、原因を取り除いてからハンドルを入「|」にしてください。感電、火災のおそれがあります。
- テストボタンを押して動作を確認してください。漏電遮断器が切「○」にならない場合は故障です。電気工事店に連絡してください。
- 電気機器のアース端子は必ず接地してください。

■保守・点検上のご注意

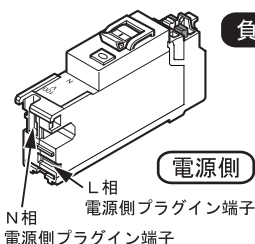


注意

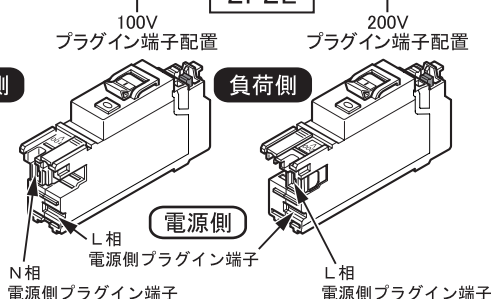
- 保守・点検は、専門知識を有する人が行ってください。
- 保守・点検は、上位遮断器を切「○」にし、電気がきていないことを確認してから行ってください。感電、短絡のおそれがあります。

各部の名称

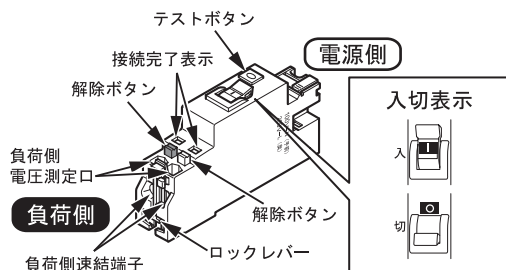
2P1E



2P2E

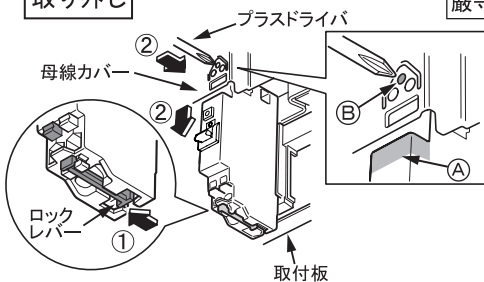


2P1E・2P2E



本体の取り外し・取り付け

取り外し



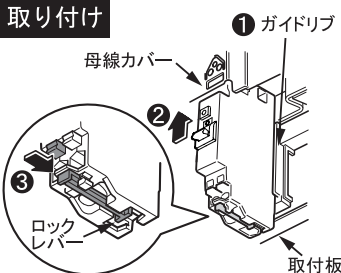
- ① ロックレバーを上げます。
- ② 指を(A)部にかけ、ブレーカを引きながら、プラスドライバで(B)部を押し、ブレーカを取り外す。
※プラスドライバは、2番または3番を使用してください。
※ブレーカの脱落到意してしてください。

⚠ 注意



- 必ず主幹ブレーカを切ってください。感電のおそれがあります。

取り付け



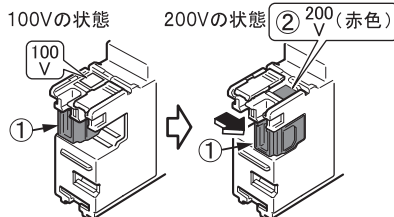
- ① ブレーカをガイドリブの間に置きます。
- ② ブレーカをガイドリブに沿って奥まで差し込みます。
- ③ ロックレバーを下ろします。

電圧切り替え 2P2E型(100/200V)のみ

⚠ 注意



- 必ず主幹ブレーカを切ってください。感電のおそれがあります。



- (1) 電圧切替端子部①を矢印方向にスライドします。必ず端(カチッと音がする)までスライドさせてください。
- (2) 電圧確認表示②が200V(赤色)になっていることを確認します。電圧確認表示②が100Vのままの場合は異常です。本ブレーカを使用しないでください。
- (3) 電線接続前にブレーカの負荷側で電圧を確認してください。

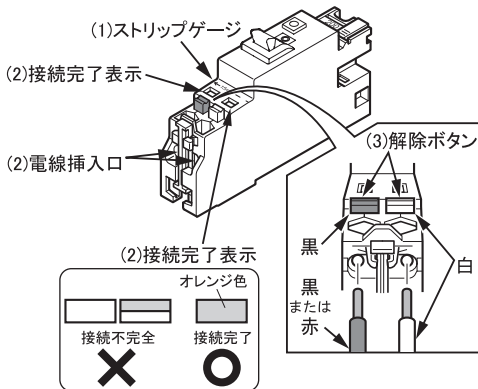
速結端子への電線接続

⚠ 注意

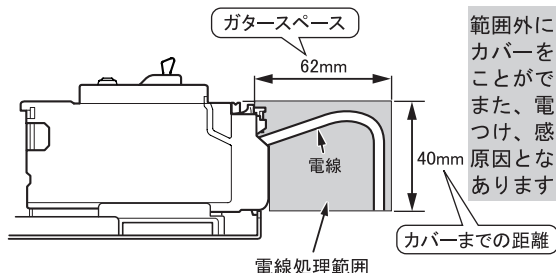


- 電線の押込み荷重が高すぎる(100N以上)とブレーカが破損する場合があります。
- 解除ボタンの押込み荷重が高すぎる(70N以上)とブレーカが破損する場合があります。

- (1) 電線の被覆をブレーカ本体のストリップゲージに合わせ、15mm(13~18mm)剥離します。
- (2) 電線挿入口に電線を差し込み、オレンジ色の接続完了表示が出るまで差し込みます。オレンジ色の接続完了表示が出ない場合は、接続が不十分です。電線の剥離長さを確認して接続し直してください。
- (3) 電線を抜く場合は、解除ボタンを押しながら引き抜いてください。



注) 接続電線は電線処理範囲内で配線してください。



範囲外に出ますと、カバーを取り付けることができません。また、電線被覆を傷つけ、感電・短絡の原因となるおそれがあります。

⚠ 注意



- 1つの速結端子に2本以上の電線を差し込まないでください。
- 心線をはんだ付けしないでください。



- 電線の差し込み部の変形・腐食は、接続不良の原因となります。電線の変形・腐食部分を取り除いた後、電線の被覆を剥離し、接続し直してください。
- 棒圧着端子を使用する場合は、必ず絶縁キャップを取り付けてください。短絡のおそれがあります。
- 適合圧着工具を使用して電線を圧着してください。

接続可能電線: $\phi 1.6 \cdot \phi 2.0 \cdot \phi 2.6$ Cu(銅)単線専用
注) 30Aは $\phi 2.6$ の単線を接続してください。
より線の場合は指定の棒圧着端子を接続してください。

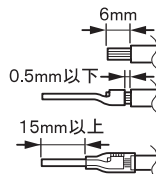
より線サイズ	適合棒圧着端子使用
1.25mm ² 2.0mm ²	TC 2-20 (棒圧着端子) VC 1-2 (絶縁キャップ) 【ニチフ製】
3.5mm ² 5.5mm ²	TC 5.5-21ST (棒圧着端子) VC 5.5-21 (絶縁キャップ) 【ニチフ製】 (30Aに標準付属)

[棒圧着端子接続方法]

- (1) 電線の被覆を6mm剥離します。
- (2) 棒圧着端子に電線を通し、圧着します。
- (3) 棒圧着端子に絶縁キャップを取り付けます。

■適合圧着工具

ニチフ製NH1, NH9, NA3(NA3 7) または同等品



施工電気工事者名

TEL ()
施工年月日 年 月 日

商品および取扱説明書の内容についてご不明な点がございましたら、弊社技術問い合わせ窓口までお問い合わせください。

広島市南区大州3-1-42

テンパール工業株式会社
http://www.tempearl.co.jp/

技術問い合わせ窓口
TEL (082) 287-9110 FAX (082) 283-4534
受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00 (弊社営業日)